

<b>建物概要</b>	建物名称: ソルブラーサ堺 建設地: 大阪府堺市 用途地域: 準工業地域、準防火地域 建物用途: 共同住宅 竣工年月: 1998年4月1日 直近の大規模改修実施年月: 部分評価の場合の特記事項:	敷地面積: 10,282 m <sup>2</sup> 建築面積: 2,386 m <sup>2</sup> 延床面積(評価対象分): 15,851 m <sup>2</sup> 階数: 地上15F 構造: SRC造 平均居住人員: 672 人 年間使用時間: 8,760 時間/年	評価の段階: 運用段階評価 評価の実施日: 2026年2月24日 作成者: 若山 香保 不動産評価員番号: ふ-001182-27 確認日: 2026年3月31日 確認者: 若山 香保 不動産評価員番号: ふ-001182-27
-------------	---	---	--

<b>評価結果</b>	<table border="1"> <tr> <td>67.2 / 100</td> <td>合計</td> <td>ホールライフカーボンの評価</td> <td>評価しない</td> </tr> <tr> <td>(得点 / 満点)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S ランク: ★★★★★</td> <td>≥ 78</td> <td rowspan="5">★ ★ ★ ★ ★ ☆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A ランク: ★★★★</td> <td>≥ 66</td> </tr> <tr> <td>B+ランク: ★★★</td> <td>≥ 60</td> </tr> <tr> <td>B ランク: ★★</td> <td>≥ 50</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ポイントは小数点第1位までの表示とする</td> </tr> </table>	67.2 / 100	合計	ホールライフカーボンの評価	評価しない	(得点 / 満点)				S ランク: ★★★★★	≥ 78	★ ★ ★ ★ ★ ☆		A ランク: ★★★★	≥ 66	B+ランク: ★★★	≥ 60	B ランク: ★★	≥ 50	ポイントは小数点第1位までの表示とする		<table border="1"> <tr> <td>取組項目数: A1-A5</td> <td>B1,B3-B5</td> </tr> <tr> <td>B6-B7</td> <td>C1-C4</td> </tr> </table>	取組項目数: A1-A5	B1,B3-B5	B6-B7	C1-C4
67.2 / 100	合計	ホールライフカーボンの評価	評価しない																							
(得点 / 満点)																										
S ランク: ★★★★★	≥ 78	★ ★ ★ ★ ★ ☆																								
A ランク: ★★★★	≥ 66																									
B+ランク: ★★★	≥ 60																									
B ランク: ★★	≥ 50																									
ポイントは小数点第1位までの表示とする																										
取組項目数: A1-A5	B1,B3-B5																									
B6-B7	C1-C4																									

<b>1. エネルギー/温暖化ガス</b>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>最大加点</th> <th>必須項目</th> <th>指標 (*は参考値)</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td>適合</td> <td>1</td> <td>省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制 実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定</td> <td>一次エネルギー(目標値)</td> <td>175 MJ/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td>15.0</td> <td>20/15</td> <td>1.1 使用・排出原単位(計算値)</td> <td>一次エネルギー(計画値)</td> <td>176.8 MJ/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値より</td> <td>二次エネルギー(*)</td> <td>18.1 kWh/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>GHG排出量(*)</td> <td>7.8 kg-CO<sub>2eq</sub>/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td>5</td> <td>1.2 使用・排出原単位(実績値) 共用部の評価</td> <td>一次エネルギー(実績値)</td> <td>176.8 MJ/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>エネルギー消費量実績値一覽参照</td> <td>二次エネルギー(*)</td> <td>18.1 kWh/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>二次エネルギー=一次エネルギー/9.76</td> <td>GHG排出量(*)</td> <td>7.8 kg-CO<sub>2eq</sub>/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO<sub>2</sub>/kWh(電気)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>-/5</td> <td>1.3 省エネルギー(仕様評価) 専有部の省エネ対策</td> <td>導入された対策項目数</td> <td>1.0 項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3)</td> <td>利用率</td> <td>0.0 %</td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>5</td> <td>1.4 自然エネルギー(間接利用)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>導入なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>24.0</td> <td>30.0</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値	適合	1	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制 実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値)	175 MJ/m <sup>2</sup> ・年	15.0	20/15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	176.8 MJ/m <sup>2</sup> ・年			実績値より	二次エネルギー(*)	18.1 kWh/m <sup>2</sup> ・年				GHG排出量(*)	7.8 kg-CO <sub>2eq</sub> /m <sup>2</sup> ・年	5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値) 共用部の評価	一次エネルギー(実績値)	176.8 MJ/m <sup>2</sup> ・年			エネルギー消費量実績値一覽参照	二次エネルギー(*)	18.1 kWh/m <sup>2</sup> ・年			二次エネルギー=一次エネルギー/9.76	GHG排出量(*)	7.8 kg-CO <sub>2eq</sub> /m <sup>2</sup> ・年			GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO <sub>2</sub> /kWh(電気)			1.0	-/5	1.3 省エネルギー(仕様評価) 専有部の省エネ対策	導入された対策項目数	1.0 項目			3)	利用率	0.0 %	3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)					導入なし			24.0	30.0	合計		
評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値																																																																			
適合	1	省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制 実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値)	175 MJ/m <sup>2</sup> ・年																																																																			
15.0	20/15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	176.8 MJ/m <sup>2</sup> ・年																																																																			
		実績値より	二次エネルギー(*)	18.1 kWh/m <sup>2</sup> ・年																																																																			
			GHG排出量(*)	7.8 kg-CO <sub>2eq</sub> /m <sup>2</sup> ・年																																																																			
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値) 共用部の評価	一次エネルギー(実績値)	176.8 MJ/m <sup>2</sup> ・年																																																																			
		エネルギー消費量実績値一覽参照	二次エネルギー(*)	18.1 kWh/m <sup>2</sup> ・年																																																																			
		二次エネルギー=一次エネルギー/9.76	GHG排出量(*)	7.8 kg-CO <sub>2eq</sub> /m <sup>2</sup> ・年																																																																			
		GHG排出量を算出する係数は0.429kg-CO <sub>2</sub> /kWh(電気)																																																																					
1.0	-/5	1.3 省エネルギー(仕様評価) 専有部の省エネ対策	導入された対策項目数	1.0 項目																																																																			
		3)	利用率	0.0 %																																																																			
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)																																																																					
		導入なし																																																																					
24.0	30.0	合計																																																																					

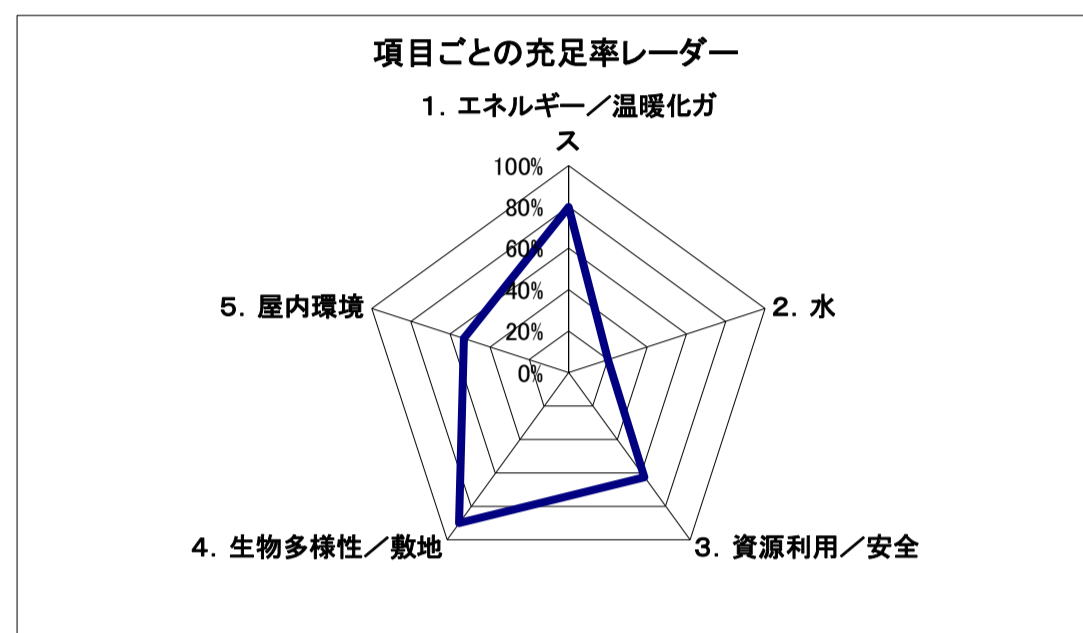
<b>2. 水</b>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>最大加点</th> <th>必須項目</th> <th>指標</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td>適合</td> <td>0</td> <td>目標設定、モニタリング、運用管理体制</td> <td>水使用量(目標値)</td> <td>4,934.0 L/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>5</td> <td>2.1 水使用量(計算値) 評価しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2.2 水使用量(仕様評価)</td> <td>取組数</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>取組なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>5</td> <td>2.3 水使用量(実績値)</td> <td>水使用量(実績値)</td> <td>4,983.8 L/m<sup>2</sup>・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>実績値より</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>10</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	適合	0	目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	4,934.0 L/m <sup>2</sup> ・年	1.0	5	2.1 水使用量(計算値) 評価しない					2.2 水使用量(仕様評価)	取組数	項目			取組なし			1.0	5	2.3 水使用量(実績値)	水使用量(実績値)	4,983.8 L/m <sup>2</sup> ・年			実績値より			2.0	10	合計		
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値																																					
適合	0	目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	4,934.0 L/m <sup>2</sup> ・年																																					
1.0	5	2.1 水使用量(計算値) 評価しない																																							
		2.2 水使用量(仕様評価)	取組数	項目																																					
		取組なし																																							
1.0	5	2.3 水使用量(実績値)	水使用量(実績値)	4,983.8 L/m <sup>2</sup> ・年																																					
		実績値より																																							
2.0	10	合計																																							

<b>3. 資源利用/安全</b>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>最大加点</th> <th>必須項目</th> <th>指標</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td>適合</td> <td>5</td> <td>新耐震基準への適合またはIs値、If値</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>5</td> <td>3.1 高耐震・免震等 3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td></td> <td>3.1.1 耐震性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.1.2 免震・制震・制振性能</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>導入なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.7</td> <td>5</td> <td>3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制 3.2.1と3.2.2の平均で評価する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>① 躯体材料 用いていない</td> <td>リサイクル材目数(非構造材)</td> <td>2 品目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>② 非構造材料 リサイクル材材を用いている</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.0</td> <td></td> <td>3.2.2 廃棄物処理抑制</td> <td>取組数</td> <td>4 ポイント</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 1)~6)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>5</td> <td>3.3 躯体材料の耐用年数</td> <td>経過年数+今後の想定耐用年数</td> <td>年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>建築基準法に定める対策が講じられている</td> <td>3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.7</td> <td>5</td> <td>3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理/バリアフリー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.0</td> <td></td> <td>3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔</td> <td>更新年数の平均値</td> <td>19 年</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 計算式より</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td></td> <td>3.4.2 設備(電力等)の自給率向上</td> <td>自給率向上の取組数</td> <td>0 項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 取組なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td></td> <td>3.4.3 維持管理</td> <td>維持管理に関する取組数</td> <td>7 ポイント</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 1)、2)、5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td></td> <td>3.4.4 バリアフリー対策</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 移動等円滑化基準チェックリストの半数以上を満たす</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12.5</td> <td>20</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	適合	5	新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		3.0	5	3.1 高耐震・免震等 3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価			3.0		3.1.1 耐震性					3.1.2 免震・制震・制振性能					導入なし			3.7	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制 3.2.1と3.2.2の平均で評価する					3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価する					① 躯体材料 用いていない	リサイクル材目数(非構造材)	2 品目			② 非構造材料 リサイクル材材を用いている			4.0		3.2.2 廃棄物処理抑制	取組数	4 ポイント			根拠等 1)~6)			3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数+今後の想定耐用年数	年			建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均		2.7	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理/バリアフリー			4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値	19 年			根拠等 計算式より			1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	自給率向上の取組数	0 項目			根拠等 取組なし			3.0		3.4.3 維持管理	維持管理に関する取組数	7 ポイント			根拠等 1)、2)、5)			3.0		3.4.4 バリアフリー対策					根拠等 移動等円滑化基準チェックリストの半数以上を満たす			12.5	20	合計		
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値																																																																																																																					
適合	5	新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし																																																																																																																						
3.0	5	3.1 高耐震・免震等 3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価																																																																																																																							
3.0		3.1.1 耐震性																																																																																																																							
		3.1.2 免震・制震・制振性能																																																																																																																							
		導入なし																																																																																																																							
3.7	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制 3.2.1と3.2.2の平均で評価する																																																																																																																							
		3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価する																																																																																																																							
		① 躯体材料 用いていない	リサイクル材目数(非構造材)	2 品目																																																																																																																					
		② 非構造材料 リサイクル材材を用いている																																																																																																																							
4.0		3.2.2 廃棄物処理抑制	取組数	4 ポイント																																																																																																																					
		根拠等 1)~6)																																																																																																																							
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数+今後の想定耐用年数	年																																																																																																																					
		建築基準法に定める対策が講じられている	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均																																																																																																																						
2.7	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理/バリアフリー																																																																																																																							
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値	19 年																																																																																																																					
		根拠等 計算式より																																																																																																																							
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	自給率向上の取組数	0 項目																																																																																																																					
		根拠等 取組なし																																																																																																																							
3.0		3.4.3 維持管理	維持管理に関する取組数	7 ポイント																																																																																																																					
		根拠等 1)、2)、5)																																																																																																																							
3.0		3.4.4 バリアフリー対策																																																																																																																							
		根拠等 移動等円滑化基準チェックリストの半数以上を満たす																																																																																																																							
12.5	20	合計																																																																																																																							

<b>4. 生物多様性/敷地</b>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>最大加点</th> <th>必須項目</th> <th>指標</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td>適合</td> <td>10</td> <td>特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>10</td> <td>4.1 生物多様性の向上</td> <td>②取組表による場合のポイント数</td> <td>4 ポイント</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 1)、3)、4)、5)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定がない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td>5</td> <td>4.3 公共交通機関の接近性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td></td> <td>4.3.1 公共交通機関の接近性</td> <td>鉄道駅またはバス停からの距離</td> <td>8 分圏内</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 鉄道: 妙国寺前駅 徒歩8分</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td>5</td> <td>4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>評価しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.0</td> <td></td> <td>4.4 自然災害リスク対策</td> <td>リスクの合計数</td> <td>3 種類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 リスクの合計数が3種だが、2種については有効な防災対策を実施している</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18.0</td> <td>20</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	適合	10	特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数	4 ポイント			根拠等 特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない					根拠等 1)、3)、4)、5)			0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生					根拠等 土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定がない			5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内			根拠等 鉄道: 妙国寺前駅 徒歩8分			3.0	5	4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮					評価しない			3.0		4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	3 種類			根拠等 リスクの合計数が3種だが、2種については有効な防災対策を実施している			18.0	20	合計		
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値																																																																								
適合	10	特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし																																																																									
10.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数	4 ポイント																																																																								
		根拠等 特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない																																																																										
		根拠等 1)、3)、4)、5)																																																																										
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生																																																																										
		根拠等 土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定がない																																																																										
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性																																																																										
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内																																																																								
		根拠等 鉄道: 妙国寺前駅 徒歩8分																																																																										
3.0	5	4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮																																																																										
		評価しない																																																																										
3.0		4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数	3 種類																																																																								
		根拠等 リスクの合計数が3種だが、2種については有効な防災対策を実施している																																																																										
18.0	20	合計																																																																										

<b>5. 屋内環境</b>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>最大加点</th> <th>必須項目</th> <th>指標</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td>適合</td> <td>3</td> <td>建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.6</td> <td>3</td> <td>5.1 自然利用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td></td> <td>5.1.1 屋光利用 5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5.1.1.1 自然採光</td> <td>開口率</td> <td>31.4 %</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 計算式より</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td></td> <td>5.1.1.2 屋光利用設備</td> <td>屋光利用設備</td> <td>種類</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>3</td> <td>5.1.2 通風・排熱</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>3</td> <td>5.1.3 眺望・ゆとり</td> <td>天井高</td> <td>m以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 計算式より</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>2</td> <td>5.2 健康・快適</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>5.2.1 暑さ・寒さ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 レベル2を満たさない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>2</td> <td>5.2.2 主要な居室の冷房・暖房</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 レベル2を満たさない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>2</td> <td>5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 レベル2を満たさない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.0</td> <td>2</td> <td>5.2.4 騒音・遮音</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 レベル2を満たさない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.0</td> <td>3</td> <td>5.3 防犯対策</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>根拠等 エントランスセキュリティシステム、ITVカメラ監視</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>#####</td> <td>20</td> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価	最大加点	必須項目	指標	評価値	適合	3	建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし		1.6	3	5.1 自然利用			2.0		5.1.1 屋光利用 5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3					5.1.1.1 自然採光	開口率	31.4 %			根拠等 計算式より			1.0		5.1.1.2 屋光利用設備	屋光利用設備	種類			根拠等			1.0	3	5.1.2 通風・排熱					根拠等			2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高	m以上			根拠等 計算式より			1.0	2	5.2 健康・快適					5.2.1 暑さ・寒さ					根拠等 レベル2を満たさない			1.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房					根拠等 レベル2を満たさない			1.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気					根拠等 レベル2を満たさない			1.0	2	5.2.4 騒音・遮音					根拠等 レベル2を満たさない			2.0	3	5.3 防犯対策					根拠等 エントランスセキュリティシステム、ITVカメラ監視			#####	20	合計		
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値																																																																																																																					
適合	3	建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし																																																																																																																						
1.6	3	5.1 自然利用																																																																																																																							
2.0		5.1.1 屋光利用 5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3																																																																																																																							
		5.1.1.1 自然採光	開口率	31.4 %																																																																																																																					
		根拠等 計算式より																																																																																																																							
1.0		5.1.1.2 屋光利用設備	屋光利用設備	種類																																																																																																																					
		根拠等																																																																																																																							
1.0	3	5.1.2 通風・排熱																																																																																																																							
		根拠等																																																																																																																							
2.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高	m以上																																																																																																																					
		根拠等 計算式より																																																																																																																							
1.0	2	5.2 健康・快適																																																																																																																							
		5.2.1 暑さ・寒さ																																																																																																																							
		根拠等 レベル2を満たさない																																																																																																																							
1.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房																																																																																																																							
		根拠等 レベル2を満たさない																																																																																																																							
1.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気																																																																																																																							
		根拠等 レベル2を満たさない																																																																																																																							
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音																																																																																																																							
		根拠等 レベル2を満たさない																																																																																																																							
2.0	3	5.3 防犯対策																																																																																																																							
		根拠等 エントランスセキュリティシステム、ITVカメラ監視																																																																																																																							
#####	20	合計																																																																																																																							

<b>6. ホールライフカーボンの評価 [任意]</b>	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>最大(加点なし)</th> <th>指標</th> <th>評価値</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td>取組数</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>A1-A5</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B6-B7</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B1,B3-B5</td> <td>項目</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C1-C4</td> <td>項目</td> </tr> </table>	評価	最大(加点なし)	指標	評価値	5		取組数	項目			A1-A5	項目			B6-B7	項目			B1,B3-B5	項目			C1-C4	項目
評価	最大(加点なし)	指標	評価値																						
5		取組数	項目																						
		A1-A5	項目																						
		B6-B7	項目																						
		B1,B3-B5	項目																						
		C1-C4	項目																						



**環境性能の特徴**

- ・エネルギー使用量の実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・生物多様性向上への配慮がなされている。